



[原作]

谷くらら

たつせ

[漫画]

人妻

だけと

魔法少女

です



4

人妻_{だけど}魔法少女_{です}♡ 第4話





……っ!!



どうした

パワーアップした
はずなのに
動けない…

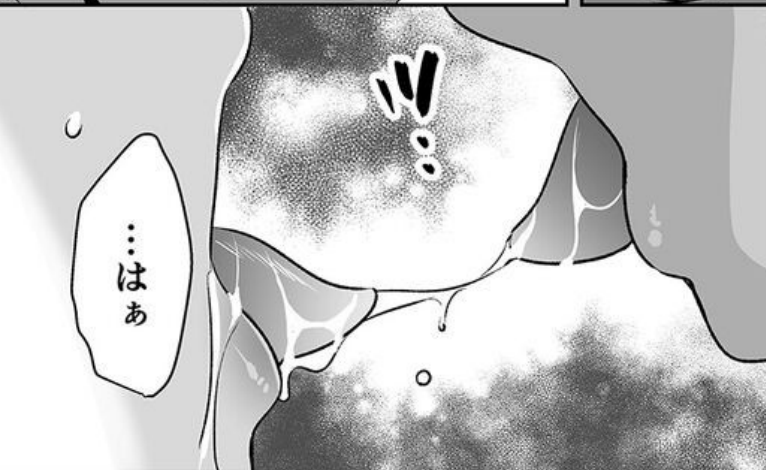


抵抗
できないのか?

それとも…

こいつ…
とんでもなく強い…!!







どうしよう
猛流に見られてるのに
直接触ってほしくて
たまらない

ヤミッ

我慢できない
ようだな
直接触ってほしいと
ねだってみろ

ニヤリ…

……っ
そんなこと
絶対言わない！

ほう…どこまで
耐えられるか
見ものだな

ギルンッ

しかし…こんなに
乳首を固くして
恥ずかしいやつだ
……なあ？

ギリリ

ギョッ

…ッ

ギョッ

ギョッ

……
気が変わった





すぐにでも
イキそうだな

味も匂いも
濃厚になってる

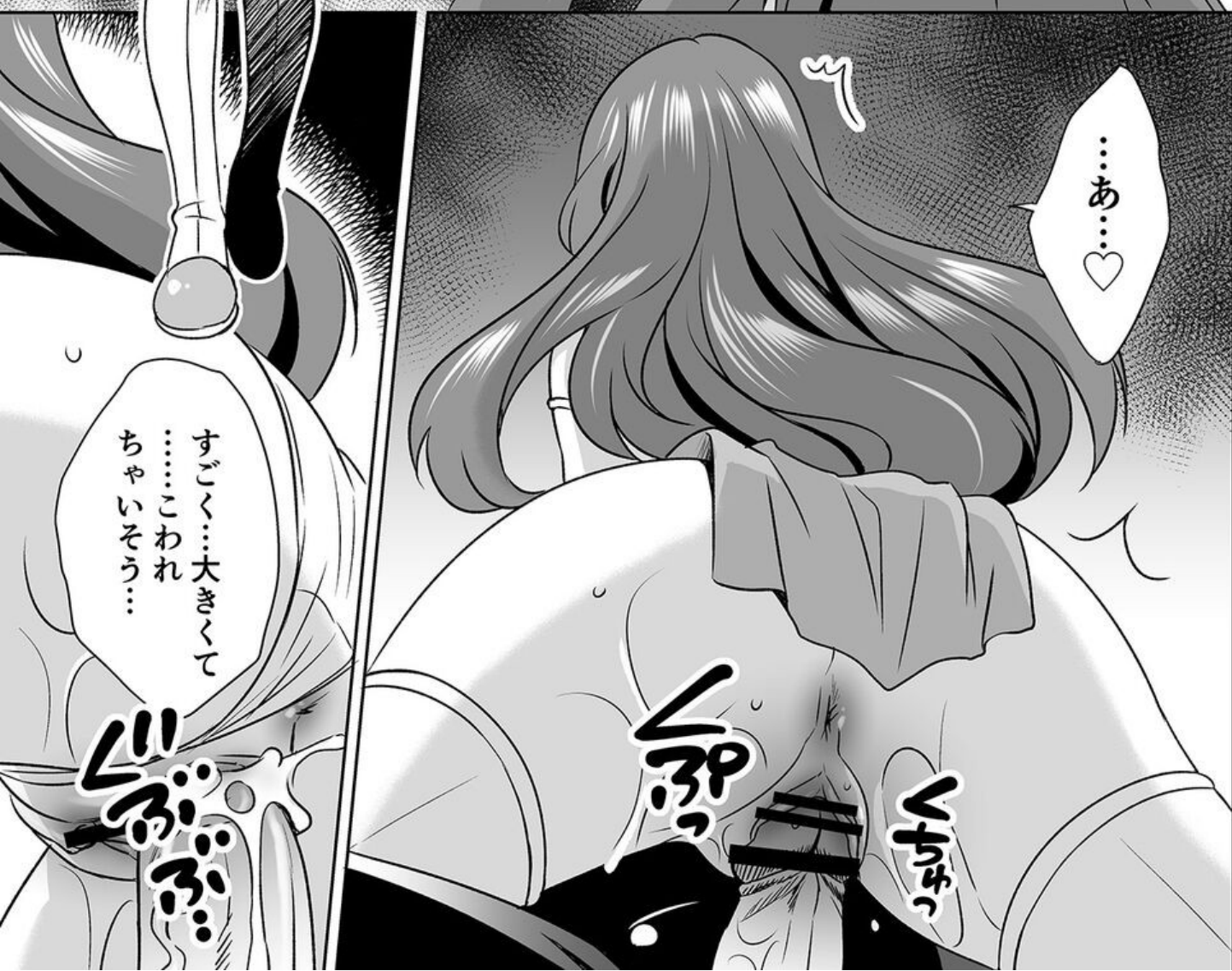


もう…私…ッ
だめ…だめ…ッ



だめえ…





気持ちいいっ

おっきいの
入ってくるう♡

さすが
俺の幹部たちを
葬っただけある

もっと
もっと
ほしい!!

いいだろう
快楽を
貪るがいい



ああ…

まだ足りないの
もっとください♡

ん…♡
美味しい…

ふっ…
これが
欲しいのか

ん…♡

レロロ…

はあ♡

あん…♡すごい
どんどん大きく
なってくう…♡

ん…♡

ちゅっ

う…

う…♡
ん…♡

んむ

じゅぽ

じゅぽ

ん…♡

ん…♡

ちゅっ♡

はあ

いいぞ…
堕ちるがいい

んっ

んっ♡

ん…♡



香澄…
大丈夫？

ヒッ
ッ

ここまで運んで
くれたのは…
猛流なの？

——もう…ごまかせない…

離婚されるかも
しれない…
けど…

猛流…
話があるの…

…うん

猛流…

私…
実は…

レインボースター
なの…

身を挺して
地球を守る
レインボースターに
尊敬と憧れを
抱いていた

地球を守るためとはいえ
……あんな……

僕は…

やっぱり…私は
レインボースターの…



やっぱり正体は
香澄だったん
だね

レインボースターを
見てるとなぜか
胸を締め付けられて…

でも…
彼女の正体は
香澄じゃないかって
思ってた

え……

まるで恋を
してるみたいで
戸惑っていたんだ

……

僕が香澄以外の
女性に興味を
持つはずないから

猛流…

これからも
応援してるから

うん！

そう
言えば…

あ…

香澄が命を懸けて
戦っているのに

僕はなんにも
できなくて
申し訳ないけれど

昨日猛流に
抱かれたあと
…魔法力が格段に
上がった気がするの

それは理論上
ありえなくはないな

愛のパワーって
やつかも

また…
手伝わせて
ほしい

どきん

うれしい
…でも

ドサ

うん?

どうして今まで
私を抱いて
くれなかったの?

それは…

…いつかは
話さなくちゃ
いけないと
思っていた

香澄も秘密を
教えてくれたんだ
僕も…話すよ

……え…

今までずっと…
隠してきた
秘密を……

猛流の…秘密……?

girl's maniax

がるまに

✿comics

人妻だけど魔法少女です 第4話

作画: たつせ

原作: 谷くらら

発行日 2021年10月20日

発行所 (株)エイシス

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、
放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、
著作権法上での除外を除き禁止します。